

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

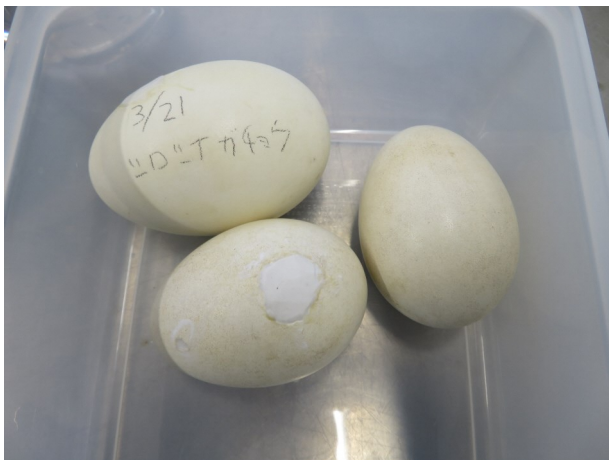
第23号

「来年に向けて 頑張れ！」

2022年5月23日

第20号で書いていた巣作りの続報です。オスの空は手前の四角い巢台、メスの花はエサやりパイプの上の巢台がお気に入りという状態がしばらく続いていました。巢材はほとんど増えていませんでした。

繁殖を促すために偽卵（ぎらん）を置くことにしました。偽卵とは、卵の中身を抜きそこに石膏を詰めたもので、偽物の卵です。ちなみに今回は、コウノトリの卵と大きさが近いガチョウの卵を使いました。四角い巢台に偽卵を置くと、空はすぐに抱卵し始めました。その後近づいてきた花は、おもむろに偽卵をくわえると巢台から落としてしまいました。卵を産む花にとっては、違和感があったのでしょうか。翌日、拾ってもとに戻してからは、落とされることはありませんでした。



偽卵（ぎらん）



巢台の上に偽卵を置きました



偽卵を抱き始めた頃の空は、うまく抱けず体の外に出していることもありましたが、そんな空を見ていた花も違和感より抱卵したい気持ちが勝ったのか抱卵し始めました。徐々に抱卵が上手になり、更に巣材も集めるようになりました。抱卵時間も増え始めました。



巣材をたくさん集めました



抱卵中の空

当初は空がほとんど抱卵をしていましたが、10日ほどするとほぼ交代で抱卵するようになりました。今では、エサより抱卵の方が良いようです。清掃中も空は逃げずに抱卵しています。この経験が、来年に生きることを願って、巣台を改良し環境を整備しようと思います。この記事が投稿される頃には、偽卵は撤去予定です。



おまけ：偽卵を置く前から交尾をしようとする行動がありました。空が花に乗ろうと足をあげては失敗を繰り返していましたが、やっと1回背に乗りましたが、交尾まで至っていません。